

## ワールドカップ関連情報

2014年3月28日付（W杯まであと76日）

### 1) アレーナ・ダ・アマゾニア

今回ワールドカップで使用されるスタジアムは、1970年に完成したヴィヴァウド・リマ・スタジアム（通称ヴィヴァウダン）を取り壊して建設された。新スタジアムはインディオが使用する手作りの籠に色とりどりのフルーツが盛られている様子をモチーフにデザインされており、観客席はメロン、バナナ、パイナップル、オレンジ、マンゴー、グアバ、パパイヤを象徴する黄、オレンジ、赤系の7色に彩色されている。スタジアムは自然空調システム、自然光（昼光）の導入、雨水利用など環境にやさしい建築技術を採用しており、電力は30%、水は50%消費を抑えることができる。また、ブラジル、クイアバ、ペロオリゾンテ、ナタル、フォルタレーザ、サルバドール、レシーフェのスタジアムと同じくLEED認証（環境に配慮した建物に与えられる米国グリーンビルディング協会による認証）を獲得している。外面を覆うX型の鉄筋は総重量6千トンにもものぼり、ポルトガルから貨物船3隻で運搬され、2013年6月の組立開始から同年10月の終了まで約5ヶ月を要した。組立に使われた重量700トンのクレーンはポルトアレグレのスタジアム建設で使用されたものを解体し、15台のトレーラーに積み分け、 Rondônia州ポルトベリヨ市に陸送後、マデイラ河を下りマナウスまで運搬された。

**正式名称** アレーナ・ダ・アマゾニア・ヴィヴァウド・リマ (Arena da Amazônia Vivaldo Lima)  
スタジアムの名前の由来となったヴィヴァウド・リマ氏は地元サッカーチーム Nacional や Fast などの会長を務め、マナウス市長官（後の市長職）、アマゾナス州議会議員、下院議員を歴任した政治家であり医者、弁護士、ジャーナリストである。当初、新スタジアムの名前にヴィヴァウド・リマは含まれていなかったが、前スタジアムを取り壊した上に名前も変更すれば当地の歴史を消し去ることになるとし、2013年12月11日に同名を含めることが官報に公示された。

**工事期間** 2010年7月10日：着工  
2013年3月9日：落成式挙行（2014年3月24日時点：98.73%完了）

**収容人数** 44500人

**建設費** 2010年7月の契約時は4億9950万リアルであったが、スポーツ省によると、総工費は6億6950億リアルに達した。

**テスト・イベント** FIFAが義務付けているワールドカップ前のテスト・イベントとして、4月3日（19時半）にブラジル杯のレゼンジ対ヴァスコ戦が開催される。チケット販売数は4万枚で、チケット価格は60～140リアル。

2013年4月にポルトガルから出荷される鉄筋と2014年2月時点でのスタジアム



【免責条項】記事はブラジル主要メディア及び公的機関ホームページからの公開情報を当館の責任でまとめたものです。できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連してご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、当館は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。